

第1回 日本芸術院の会員選考に関する検討会議

議事要旨

1. 日時 令和3年2月1日（月）10時～12時
2. 場所 文部科学省第2講堂（旧庁舎6階）（※WEB会議）
3. 出席者
＜委員＞ 尾崎委員（座長）、建畠委員（副座長）、逢坂委員、岡島委員、岡室委員、加治屋委員、草薙委員、澤委員、島委員、坂東委員、三浦委員、山根委員（下線の委員はオンライン参加）
＜オブザーバー＞ 日本芸術院 高階院長、澄川第一部長、野村第三部長、西村事務長
＜文部科学省＞ 萩生田文部科学大臣
＜事務局＞ 文化庁 矢野次長、出倉審議官、梶山参事官（芸術文化担当）
根来文化戦略官 他
4. 議事
 - （1）座長の選任等について
 - （2）文部科学大臣挨拶
 - （3）事務局からの資料説明
 - （4）日本芸術院の会員選考に関する議論
5. 議事要旨
 - 資料1の「日本芸術院の会員選考に関する検討会議 取扱要領」の3.（4）に基づき、議事（2）（3）及び配布資料は公開とするものの、議事（1）（4）については、個人情報を含む事項を扱うことや、静謐な環境の下、委員が自由闊達に議論することができるよう、非公開とすることが決定された。
 - 座長に尾崎委員、副座長に建畠委員及び柳原委員が選任された。
 - 萩生田文部科学大臣から、下記のとおり挨拶があった。
 - ・ 外部の意見を取り入れた会員選考については、5年前の国会での指摘をふまえ、日本芸術院において検討し、一部見直しが行われたが、必ずしも広く理解を得られるものではないと考えており、もう一步進めていくことが必要である。
 - ・ 委員の皆様には、グローバル化した文化芸術における芸術上の功績の考え方や、多様化した文化芸術の現状をふまえた分野の在り方、会員候補者の推薦や選考の際の外部意見の反映について、忌憚のない、活発なご議論をお願いしたい。
 - 事務局から、資料の説明と欠席の柳原委員から事前に頂いた意見の紹介を行った。
 - 高階院長からこれまでの日本芸術院での会員選考方法の見直しに関する検討状況について説明があった。
 - 日本芸術院の会員選考について自由討議を行った。
 - 次回（第2回）の検討会議についても、個人情報を含む事項を扱うことや、静謐な環境の下、委員が自由闊達に議論することができるよう、非公開とすることが決定された。